

岩柳



岩国支局
〒740-0022岩国市山手町1-1-14
☎0827-22-1365 Fax 22-1366
iwakuni@yomiuri.com

山口総局
〒753-0074山口市中央4-4-4
☎083-922-1042 Fax 933-1103

宇部支局 ☎0836-21-3020

下関支局 ☎083-231-4343

周南支局 ☎0834-21-1429

柳井通信部 0820-24-6181

防府通信部 0835-22-1792

萩通信部 0838-22-0128

購読は **0120-4343-81**

東部読売会 0834-31-6448

Fax 31-6449

【広告】0834-31-2817

【折り込み】0836-62-5400



金魚ちょうちんを通じた新たな交流に意気込む木阪さん

金魚ちょうちん講演会

柳井で10日、ルーツを学ぶ

柳井市を代表する民芸品「金魚ちょうちん」のルーツは、青森県弘前市にあった!? 講演会「北前船と金魚ちょうちん」が10日午前10時、柳井市の柳井グランドホテルで開かれる。参加無料。

「金魚の産地でもない柳井市に、なぜ金魚ちょうちんがあるのか」。柳井を訪れる観光客から地元によく寄せられる質問だ。今回の講演会は、金魚ちょうちんをモチーフにした商品開発を手がける文具店「木阪賞文堂」社長、木阪泰之さん(56)が、そうし

た疑問に答えたいと企画。住民有志でつくる「柳井市白壁の町並みを守る会」が発足40年を記念して主催する。

講師は、弘前市の弘前文化財保存技術協会代表理事の今井二三夫さん(71)。江戸時代の弘前藩は養殖金魚の産地で、「金魚ねぶた」と呼ばれる金魚ちょうちんがあった。柳井には幕末に北前船を通じて伝わり、染め物業の熊谷林三郎が作り始めたといわれる。

今井さんは、本州の北と西の両端をつないだ交易の歴史や、今後の両市の交流の可能性について語る。

木阪さんは「白壁の町並みができた時代の柳井が、海路を通じて全国とつながっていたことがわかる。弘前との交流の第一歩にもしたい」と話している。問い合わせは木阪さん(0820・22・0150)へ。

注文を付けた。生徒は、周南市のJR櫛ヶ浜駅構内で貨物列車にはねられて死亡した。県教委の第三者委員会が調査を行い、17年11月、生徒がいじめを受けたと認定。一方で、「一つの要因だけで説明できるほど単純ではない」として、いじめが自殺の主な要因とは認めなかった。

これに対し、遺族は「納得できない」として県に再調査を要望。検証委が18年2月～19年1月、当時の生

報告書の内容を説明する堂野委員長(左)



徒、教職員に対する聴き取りを行ったり、計16回に及ぶ会合を開いたりして報告書をまとめた。

報告書では、▽無料通話アプリ「LINE」グループ

からの強制退会▽菓子などを買うよう求める――など18の行為をいじめと認定。LINEの退会については、「仲間外れに当たり、周囲とのつながりを重視す

る「いじめに類する行為」として5項目を認定し、自殺の背景になったと断定。この日、検証委の堂野佐俊委員長は記者会見し、「日常生活の中で無自覚に行われていることが、相手にとってはいじめとなっていることがある。教職員は自覚してほしい」と訴えた。

遺族の代理人の石田達也弁護士は報道陣の取材に、「生徒、教職員の主体を限定せずに法律に当てはめ、いじめかどうかを判断した

観光振興な団体や個人を交通省中国連地方観光振興岩国市の一般(会長)が選ば同会は19立。国の天然のシロヘビ)



山根施設長(右)にマスコットキーを手渡す岩田社長

労働者最多の7723人

ベトナム実習生が

@山口 外国人材

山口労働局は県内の外国人の雇用状況をまとめた。外国人労働者数(昨年10月末現在)は前年比16.4%増の7723人で、過去最多を更新した。特にベトナムからの技能実習生の受け入れが増加傾向にあるとい

同労働局には10年連続。用する事業所か所と同17.た。業種別で最多の32842.5%を占売り・小売業建設業605た。

国籍別では同38.6%増